

第 423 回 例 会

22年7月30日

本日のプログラム

- ・ソング 「それこそロータリー」
- ・卓話 クラブフォーラム
社会奉仕委員会 鈴木 正明 委員長
親睦活動委員会 龍岡 恵子 委員長
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 3階「飛鳥の間」

次回(8月6日)のプログラム

- ・ソング 「奉仕の理想」
- ・卓話 東 健三 会員
ゲストスピーカー 渡部 邦彦氏(京都府立大学大学院教授)
「コラーゲンについて」
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 5階「ガーデンルーム」
- ・第2回理事会 13:40～ 4階「桂の間」

8月の例会予定

- ◎ 6日 卓話 東会員
- ◎ 13日 休会(お盆)
- ◎ 20日 卓話 川上会員
- ◎ 27日 クラブフォーラム(会員増強)

先週(7月23日)の例会報告

■会長の時間

本日は、菊会長の代役を務めさせていただきます。

新しいメンバーも増え、機会ある毎に 簡単な自己紹介を・・というお話でしたので、改めて自己紹介させていただきます。

私、高野幸雄は 大阪南部のりんくう地区にて「ホーロー鉄器製造業」を営んでおります。

会社は 今年7月で53期を終えようとしております。私は3代目になります。

50期の記念事業として、本社屋を泉南市の山手より現在地に移転しました。

主な商品はガス器具部品、電子レンジ等の家電部品であり、耐熱性の高い表面処理技術としてご採用頂いています。

また、最近では鍋やケトルといった器物の開発にも取り組んでおります。

業界的には世間の好不況に影響されにくく、リーマンショック以降 多くの産業が大打撃を受けている最中ではございますが、何とか経営を維持できています。

話は変わりますが、現在の会社の間近に「サザンビーチ」という海水浴場がございます。最近の報道で赤海ガメが産卵したというニュースで脚光を浴びています。

近くにお立ち寄りの際は 是非 ご来社ください。

今期はクラブ設立10周年という記念すべき年に、不東者ではございますが、副会長という大役を仰せつかっております。

実行委員会を中心にして、皆様の力で記念事業を成功させましょう。

(副会長:高野幸雄)

【来客紹介】 1名

【出席報告】

22年7月23日(第422回例会)				
会員総数	出席免除会員	出席会員	欠席会員	出席率
27名	1名	20名	6名	76.92%

【幹事報告】

[メールBOXに配布]

1)安藤名誉会員からのご依頼 「ポリオ付活化ワクチンへの切り替えに関する要望書」署名のお願い

[回覧資料]

- 1)大阪リバーサイドRCより創立30周年記念誌
- 2)ハイライトよねやま125号
- 3)他クラブより例会変更(年間)のお知らせ(地区内4クラブ)

ニコニコ箱(7月23日)

秋山 千尋 =今日は当社の前期総会、会社を変えよう変ろうのモットーがどれだけの成果が出たかが楽しみ。

川上 大雄 =牧野くん頑張ってますよ。皆さんも時々声をかけてやって下さい。

小林 知義 = 猛暑の中ゴルフに行ってきました。20cmのバットを外してがっくりでした。

森本 良嗣 = 遅くなりました。SAA当番忘れていました。ゴメンナサイ。

中井 周治 = 真夏日が続きます。明日から天神祭りですね。25日の花火が楽しみです。

大屋 準一 = 暑くなりました。熱中症で倒れる人が多いようです。皆様方も水分補給にお気をつけ下さい。

地球温暖化の影響でしょうか？南半球は大雪との事です。

鈴木 正明 = 暑いです。明日、ネクストRCへ卓話に行ってきます。

高野 幸雄 = 菊会長の代役 努めさせていただきます。ゲストスピーカーのズニエガ・シム様、卓話よろしくお願いします。

【SAA報告】

ニコニコ箱

本日計 8000円

今年度合計 3670034円

卓話(7月23日)

「私の3K: 日本の教育、ことばと交流」 ゲストスピーカー ズニエガ・シム氏 (福島三雄会員ご紹介)

私が以前フィリピンの大手法律事務所に所属していた頃、主に会社問題と知的所有権関連の業務を担当していました。毎年アジアの各地で開催されるアジア弁理士大会にも参加でき、福島氏との出会いがきっかけでした。数年前に私が出張で大阪の土地に足を踏んだ時、福島氏には大阪の弁護士会館や高等裁判所等、案内していただき、大変お世話になり、あれから数年が経ってから、こうしてみなさまとの、本日の出会いができたのも、福島先生のお陰です。心から感謝します。

日本の教育は日本人特有のものとする日本人がいるようで、今、話題になっている北朝鮮の拉致問題ではありませんが、日本語を自由に使いこなせるのは、スパイ以外、日本人しかいないと考えているようです。私が初めて来日したころ、片言の日本語をしゃべっていたら、「日本語がお上手ですね」とよく言われて、上達するにつれて、「上手だ」とだんだん言われなくなりました。最近、仕事で日本に来る時、せっかく身につけた日本語で話し、変な顔で見られて、相手の日本人が英語でしゃべりつづけたこともあり、知識度の高い日本語を使って意思疎通が図れるということでスパイのように思われたこともあります。

外国人だから、外国語、それはもっぱら英語でしゃべるのだという考えです。テレビを見ると、達者な日本語で話せる外国人が芸能界の方々とのイメージですが、日本社会若しくは国際舞台においてプロフェッショナルとして日本の大学で教育を受けて、日本語を使いこなせる外国人のことがまだ知られていないようです。日本の大学で、日本人と同じ席で講義を受けて学術的な日本語で意思疎通を図ったり試験を受けるような外国人が年々増えてきている中、日本語は日本特有のものでなくなり、英語とかスペイン語・中国語に並ぶ国際言語の一つと言っても過言ではないように思われます。

私が学生の頃、「日本人だって国立大学なんてなかなか入れないのに、外人がまさか。。。とか「本当に最後まで日本の大学で勉強しつづけられるのかな」とか、出会った日本人の何人かに言われたりして、日本の教育というのは日本人の排他的な産物だな〜と感じて、落胆しました。日本人学生といっしょに無差別的に、同じ講義に参加したり、試験を受けたり共に苦労したりする外国人留学生ではありますが、外国人を日本の学問の世界そして一般社会に受け入れられる理解・配慮がまだまだ足りないところがあると感じました。日本で教育を受けていれば、日本人とは教育という接点を通じて交流しやすくなるのではないかと思ったのに、日本の教育が逆に外国人を排除する壁の一つだと感じる時があります。

母国に帰った後、私はフィリピン駐在の日系企業の顧問弁護士にもなったり、トラブルに遭遇して助けを求める日本人の弁護もしています。今までの体験の中で、遣り甲斐のある事件と言いますか、面白いかなと思う日本人絡みの案件をここで幾つか触れたいと思います。

1. 女性関係の事件

ある日本人男性(ちなみに大阪出身の社長)がマッサージを若い女の子に頼むことになって、女がホテルを出た後「この男性に暴行された」と騒ぎを起したことによって、男性は逮捕され、「つつもたせ」の事件に引きずり込まれました。

2. 空港でのトラブル

最終審査で手荷物をきめ細かくチェックされる時に、60歳の東京の運転手さんがいらら、はらはらして、空港警察官に対して日本語で「危険物は荷物にあるはずがなく、頭をつかいなさい」と指で相手の頭に指をつつき、公務執行妨害で逮捕されました。

3. 国際結婚における夫婦間のトラブル

外国人には土地の所有に制限があるので、若奥様の名義で土地と家を購入した日本人の旦那が結婚して5周年を迎えようとした時期に、旦那の魅力を感じなくなったせいなのか、入国管理局で日本人旦那が好ましからざる外国人として訴えられて、強制送還手続きを起こされた事件です。

こんな話をすると、皆さんがフィリピンとは怖い国のように思われがちですが、決してそうではないのでご安心下さい。トラブルに会う日本人とうのは「身から出たさび」と言いますか、ほとんど、自分に何らかの「碑」、「不注意」とか、「過ち」があったからこそ、酷い目

に遭われると思います。老後生活をフィリピンで過ごしたい日本人の年々増えているので、実際住んでみると、「危ない」とか「怖い」国ではありません。

最近の動きですが、音信不通の日本人父親とフィリピン人との間にできた「新日系人」の救済対策にも私が関わるようになりました。日本の外務省と法務省は、介護施設とか工場で母親に就労の機会を与え、子供が日本国籍ということから、子供の養育のサポート役として、母親に特別なビザを与えるという動きがあります。

弁護士としての任務は、ことばとを潤滑油、場合によって武器としてつかうことがあります。日系企業そして困った日本人のいろんなニーズに対応できるのに、私が日本で受けた教育と習った日本語が大いに役立ちます。ことばを扱う仕事でわかったことの 一つは、人間同士で理解が伝わらない原因というのは、ことばよりも、その裏にある先入観だということです。ことばが、例えば同じ日本人の間、夫婦の間でさえ、交流・理解がうまく行かないことがよくあります。私の経験上、教育とことばが二つの柱のような役割を果してきていますが、その反面、その二つの柱が交流を妨げる場合があるということも感じます。身についた語学力を生かして、生活習慣、文化、言葉、考え方がぶつかる場面を見せられました。この仕事では、日本人との交流を促進する満足感を得られる瞬間もあれば、衝突を肌で感じることもありました。

こうして今、日本のみなさんと日系企業のいろんな法律上の問題に対応できるのも、異国出身の私ではありますが、まさしく、日本で教育を受けたり、ことばをマスターできたお陰でしょう。もちろん、外国人に対して、なかなか馴染まない、閉鎖的な考えをもつ日本人がまだいらっしゃるようですが、交流を深める中、腹を割って素直な心で気持ちが通ずる日本の皆さまとの出会いもあります。お世話になったり、温かく迎え入れていただいたり、広い視野で配慮していただく、ロータリークラブ一同のような、日本の皆さまに脱帽です。

日本とフィリピンは距離的に非常に近いことから、これからも交流がより一層深まる一方です。60数年前、我々の国々は敵対関係にありましたが、今は平和の時代であり異国出身の私たちが弾圧とか、差別を受けることなく、日本の大学の門をくぐって勉学の機会が与えられ、私も日系企業そして日本のみなさんの弁護をする立場になるとの光栄な特権を与えられました。日本のみなさんにとって友人、商業・教育のパトナーや日比友好のかけ橋として、日本社会そして国際舞台において益々貢献し羽ばたけるように、これからも頑張ってお参りたいと思います。こちらがお役にたてることがありましたら、ご遠慮なく声を掛けてください。どうか一つ、よろしくお願ひ申し上げます。

ズニエガ・シム
フィリピン国弁護士
Sim Zuniega

大阪ユニバーサルシティRC URL: <http://www.osaka-ucrc.org/> E-mail: ucrc@osaka-ucrc.org 創立: 2001年3月27日
事務局 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 リーガロイヤルホテル401号室 TEL: 070-5020-6459
会長: 斎藤清貴 幹事: 三宅一郎 会報担当: 大橋高志 例会: 毎週 月曜日 12:30~13:30 リーガロイヤルホテル

4つのテスト / 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか